

口絵・本文イラスト・涼香

編集・庄司智

◆ 章前…語り部の言葉

◆ 2010.???.??T??.???.?"???"

私の友達の友達が実際に体験した話なんんですけど……
って、なんですか？ その、『また始まつたよ、こいつ』みたいなお顔は。

この話はほんと、実際にあつたお話なんですつてば。

そんな、こんな可愛い美少女を捕まえて、狼少年を見るような視線で見ないで下さいよ。
まあ、熱っぽい視線で見られてもノーサンキューですけどね。

私は心に決めた人がいますから。

っと、そういう話は今はいいんです。そう、友達の友達にあつた、本当の話ですよ。

なんと、その人は伝説の英雄になつたのです！

……って、なんで露骨にげつそりした顔をしているのですか。

いや、本当に彼のお話はマジで凄い伝説なんですってば。

レジエンドですよ、レジエンド。素敵な響きでしょ？

今時、レジエンドになる男なんていませんよ？ ね、少しは興味を持ちました？

まあ、勝手に話してしまうとしますね。

貴方は別に聞いてなくともいいので、適当に相槌を打ったり、感心したり、たまに私のあなた美声に酔いしれていて下さい。

さて、その友達の友達こと、英雄になつた彼の事を話しますと……

なんと、彼はハーレムも築いてしまつたのです！

つて、なんでいきなり興味津々なんですか。

男の子って、みんなハーレム主義でもあるんですかね？ 一人の子が選べないから、いつもみんなを取る！ みたいな。モテモテ幻想みたいなものかもしれませんね。まあ、あらかた幻想なんですけれど。だって、そういう時の女の子って、めちゃめちゃ嫉妬深いですよー？ 「あの女にも色々したんだから、私にもすべきである！ むしろしろ！」みたいな事ばっかりになりますよ？ 具体的には、そうですね。プレゼント選びとか、かなり大

変です。全員全く同じ値段で、なおかつ同じ時間悩んだものであり、さらにそれぞれ別の物を用意しないといけませんからね！

そういう気遣い出来ますか？ 思いも寄らなかつたでしょ。「みんなに好かれているからそういうのは大丈夫だ」なんて都合のいい事は一切ありません。女の子なんでものは、全員が全員『自分は特別に愛されたい』と思つてゐるのですから、自分がその特別な一人じやないって解わかつた瞬間には『グサーッ！』ですよ、『グサーッ！』。しかも、『グリグリ』つとされて、もう内臓は修復不可能なレベル。よしんば生き残つたとしても、まともな生活は出来ないようにするわけです。ひええ、女つて怖いですねえ。

つとと。思いつきり脱線してしまいました。そういう話ではないのです。

まあ、そういう話もなくもないですが、本題はそこではありません。

ええと、なんでしたつけ。そうそう、伝説の英雄になつた少年の話でしたね。

都市伝説つてご存知ですか？

そう、都市伝説。アーバンレジエンド。

俗に『フォークロア』っていう言葉で語られる、とか言われていますけれど。俗について言う割にそんな单語減多に聞きませんよね。

近所のおばちゃんとかが『そういうや最近のフォークロアがさあ、ガハハ』とか話してい

たら、ハイカラ過ぎると思いますもん。

まあ、たまにファッショング用語で聞くくらいです。民族衣装ちっくな服の事ですよ。

そんなわけで、都市伝説って言葉はご存知ですかよね？

ほとんどが眉唾まゆつばなものだらけですが、実在してなくもなさそうな身近なお話。

内容はホラーが多めだけど、どこかコミカルチックな匂いも残しているからか、割と広い年齢層に受け入れられている、気軽な世間話の伝説達。

それが都市伝説です。

んで、彼はその都市伝説になつたのです。以上、おしまい。

……ん？ なんですか？

もつと詳しい事が知りたそうな顔をしてますね。

ひよつとして興味あるんですか？ この、都市伝説。

へえ、意外なところに興味を持たれるんですね。

もつと、隣のクラスに可愛い子がいるとか、あの子は着痩せするタイプだから本当はす

んごいスタイルがいいとか、そういう話が聞きたいのかと思いましたが。

ああ、その話も興味津々ですね。ま、それはまた今度にしましようか。

貴方が狙つている子のスタイルの話題も楽しそうではありますが。

さておきまして。

では、早速その「都市伝説」の英雄になつた彼のお話をするとしましようかね。
えーと。……そうですねえ……

これから挙げる三つの中から、選んでみるつてのはどうでしょう？

一番。追つてくる呪のろいの人形。

二番。消えた花子さん。

三番。魔女喰くいの魔女。

さつきの伝説の彼が入っていない？ ええ、そうですとも。
何故なら彼は——これらの伝説を手に入れた、真の伝説マスター。

『101番目の百物語』の主人公ですからね。

ハンドレッドワン